

特集

あなたは税金を減らすことだけに
関心が向いていませんか？

社長と経理が
頭に入れておきたい！

「節税の極意」

税理士 出口秀樹

社長や経理担当者にとって関心の高いテーマが節税です。税務知識がないために無駄な税金を支払うようなことがあっては会社の資金繰りにも影響しかねません。そのためにも節税の知識を身に付けることは、社長と経理担当者にとっての必要条件です。ただし節税を意識するあまり、無駄な経費を支出するようでは、会社の経営体質は弱くなってしまいます。今月の特集企画では、会社にお金を残し、経営体質を強くするための節税策を専門家がアドバイスします。

まずは節税対策が なぜ大切なのかを理解しておこう！

税理士である私は、毎日税金に触れる機会があります。また、日常的に節税策を聞かれることも多いです。現在、

世の中にはインターネットを通じた情報があふれており、AIの普及によって税金の世界も昔のベールに包まれたものではなくなってきました。

現にAIによって仕事が奪われるトップ10に税理士は常にランキングされています。調べるだけなら、税理士は知らない時代も近づいているのかもしれない。

本稿のテーマは、「節税の極意」です。「節税」というキーワードをたたくと実に多くの情報が出てきます。また、世の中には、数多くの節税本が出版されており、私のような普通の税理士で

も節税本を何冊か書いているくらいです。

ただし、私の本も含め、節税本には節税策の紹介が多すぎて、それを読んだ方がどの方策を採ったらよいか迷う傾向があると思います。本稿では、できるだけ実務に則した形でわかりやすく体系的に節税を理解してもらえるところを目標に書いていきます。

事業継続に節税は不可欠？

節税のノウハウについて解説する前に、まずは節税対策の重要性について考えてみましょう。

税金を喜んで支払う人はあまり見た

ことがありません。納税をするイメージとしては、搾取される、取られる、支払わされるといふものがあるのかもしれない。いうまでもなく、納税は日本国民の義務であるため、必ず納税しなければならぬものです。しかしながら、義務とはいえず、できるならその支払額を縮小したいと考えるのが、率直な感情ではないでしょうか？

一方、会社経営をしていると実に様々なリスクに直面することになります。自分が考えていたよりも売り上げが上がらない、従業員が経営者のいうことを聞かない、税務署や労働局などの公的機関から様々な指摘を受ける、お金が足りないなどなど。しかし、そ



れらリスクの中でもっとも大きなリスクが事業継続リスクだと思います。

その理由は、会社の事業活動が止まった時点で、会社の存在もなくなってしまうからです。社会的な貢献など会社の存在理由はいくつかあるものの、会社は存在していること自体が大切なのです。

では、事業継続リスクと節税の関係はあるのでしょうか？ 答えはYESです。そのヒントは損益計算書にあります。手元に損益計算書があれば、その損益計算書の下にある勘定科目に注目してください。損益計算書の下に行には、上から順番に「税引前当期純利益」「法人税及び住民税等」「当期純利益」と並んでいるはずですよ。

キャッシュフローの最大化が目的

ここからの説明は、損益計算書の下の部分を見ながら考えるとよく理解できると思います。会社が継続するためには、事業活動に必要なキャッシュを確保する必要があります。そのキャッシュを獲得するためには、事業活動の中で稼ぐ営業キャッシュフローをいかに獲得するかがポイントです。さらにその営業キャッシュフローを構成するのは、当期利益が大きな割合を占めているのです。

つまり、単純な理屈として当期利益を確保することが、企業のキャッシュフローを確保することにつながるということです。

ここで、損益計算書を見てみると、「当期純利益」の一つ上にあるのが、「法人税及び住民税等」です。この法人税及び住民税等については現実的に現金での納税が必要であり、それはキャッシュの流出を意味することでもありません。

ということは、会社が経営を継続していくためにはキャッシュの確保が必要であり、そのキャッシュを確保するためには、法人税及び住民税等は少ないほうがよいという理屈になるのです。事業継続をするためには、キャッシュフローの確保が必須であり、そのために税金を含めた費用は少ないほうがよい、というのが正しい考え方だといえるでしょう。

ただ感情的に税金を取られたくないからというわけではなく、あくまで事業継続のためのキャッシュを確保するために、節税は必要だということなのです。

会社の経営者はもちろん経理担当者も含めそのほかの従業員の方々も、節税自体が目的ではなくキャッシュフローの最大化を目指すことが会社継続のための必要条件であるということを意識する必要があります。